

ビジネス基礎学習指導案

期 日 令和3年1月27日(水) 5校時
学 級 2年情報コース 16名
(男子11名 女子5名)
場 所 パソコン室(特別棟2階)
指導者 教諭 島中 奈緒子

1 単 元 名

第5章 ビジネスと売買取引 第4節 ビジネス計算の基礎

2 教 材 名

「ビジネス基礎」(東京法令出版)

「全商 珠算電卓実務検定模擬試験問題集1・2級」(実教出版)

3 生徒の実態

全体的に落ち着きがあり、授業を聞く態度や実習に取り組む姿勢も良好である。素直な生徒が多く、発問に対する答えも積極的に行い授業の雰囲気はとても良い。

本教科では2学期までに全商珠算電卓検定2級範囲までの学習を終え、7割の生徒が合格することができた。検定対策放課後学習等では、理解できている生徒が、理解できていない生徒へ教えるなど、生徒同士で教えあう姿も見られた。不合格だった生徒も、3月までに2級の範囲をしっかりと復習し、3年生進級後の6月の検定では全員が1級合格へ向けて意欲をもって取り組んでいる。

4 単元の目標

金融機関からのお金を借り入れる場合には、利息が生じ、また、逆に預け入れる場合には利息を受け取ることができることは、これまでの学習(珠算・電卓実務検定2級)で学んでいる。

この単元では、これまでの学習に加え、別の利息計算の方法について学習する。(単利法と複利法)

5 本時の実際

(1) 本時の目標

- ① 利息の計算方法には、単利法と複利法があることを理解する。
- ② 単利法の計算について再度確認する。
- ③ 日数計算の方法には、片落とし・両端入れ・両端落としの三つの方法があることを確認する。
- ④ 利率や期間が同じであれば、単利法より複利法の方が利息額は大きくなることを理解する。

(2) 本時の展開(知識・理解)

過程	時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価等
導入	10分	<ul style="list-style-type: none">・前時の学習の復習をする。・スライドに映し出された内容を確認し、利息計算の意味と、計算方法(単利法)について確認する。・本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none">・2級までの学習の復習をする。・利息計算をする意味や、2級までに学習した利息計算の公式等についてスライドで確認させる。・利息計算の方法には、単利法と複利法の2種類あって、本時は、複利法の意味と、単利法との違い、計算方法について学習することを確認する。 (スライドをみて確認させる)	<ul style="list-style-type: none">・本時の内容が把握できたか。 (関心・意欲・態度)

展開	3 5 分	<p>【複利法】</p> <p>①教科書 P 209(3)複利法本文を読み複利終価・複利利息の意味を理解する。</p> <p>②複利終価と複利利息を表す式を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $\text{複利終価} = \text{元金} \times (1 + \text{利率})$ $\text{複利利息} = \text{複利終価} - \text{元金}$ </div> <p>③単利法のように元金に対して一定の割合(利率)で計算した利息と複利法の利息計算のように一定期間ごとに利息を元金に繰り入れて利息計算した方が受け取る利息は大きくなることを理解する。</p> <p>④利息計算期について理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1年1期…1年に1回の利息計算</p> <p>半年1期…半年に1回の利息計算</p> </div> <p>⑤例4(スライド)を式にあてはめ、複利終価と複利利息の計算方法について理解する。</p> <p>教科書 P 209 問題1, 問題2を解く。</p> <p>【1級問題での演習】</p> <p>⑥1級演習問題では、複利終価率が複利終価表によって示されているため、表の見方について理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>複利終価→複利終価表を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年1期または半年1期どちらか。 ・1年1期はそのまま、半年1期は倍にする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>複利利息→複利終価表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 - 複利終価率 <p>複利終価(利息込)から原価を引くので</p> </div> <p>模擬問題 1・2を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P209 を読み、複利終価・複利利息の説明の箇所にアンダーラインを引かせる。 ・利息変化についてスライドで確認する。 ・単利法と複利法の利息変化についてスライドで確認し、長期間に渡ると複利法を使った方が利息は大きくなることを理解させる。 ・教科書を読みアンダーラインを引かせる。 ・電卓のキー操作についても併せて指導する。 ・模擬問題と検定試験料率表を配布する。 ・検定試験では実際どのような形式で出題されるか、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複利終価・複利利息の意味が理解できたか。(思考・判断・表現) ・単利法と複利法の利息変化について理解できたか。(知識・理解)(思考・判断・表現) ・利息計算期について理解できたか。(知識・理解) ・複利終価と複利利息の計算を、計算式に沿って計算することができたか。(知識・理解)(技能) ・料率表を正しく読み取ることができたか。(知識・理解)(技能)
		まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。

6 評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
利息計算の基礎的・基本的な知識を身に付け意欲的にその手順や計算を学ぼうとしている。	利息計算に関する基礎的な技術を身に付けその活用と計算結果が正確にできるかを判断できる。	利息計算の基本的な知識や技術を身に付け、計算を的確に処理できたか。	利息計算の基礎的・基本的な知識や技能を身に付け計算方法を理解できたか。

